

令和8年2月4日

令和7年度修紅短期大学附属認定こども園学校関係者評価

1、学校関係者評価者

修紅短期大学附属認定こども園 PTA 会長	小岩 玄汰	様
修紅短期大学附属認定こども園 PTA 副会長	及川 友希	様
”	松島 裕也	様
”	高橋 弥生	様

以上4名

2、学校関係者評価次第

- ① 園長挨拶
- ② 運営状況報告（資料1、資料2—要覧）
- ③ 自己評価報告（資料3）
- ④ 評価者講評
- ⑤ その他

修紅短期大学附属認定こども園

(1) 令和7年度事業報告

(教育・保育の質の向上)

- ・ひと月に1度程度、園内研修を開催し、教育保育の質の向上に努めてきた。それぞれ保育の事例を記録しそれをもとに話し合いを行う方法で行ってきた。
- ・昨年まで公開保育を行い、質の向上に努めてきたが、保育を行う保育教諭の心の余裕や保育を行う環境の充実に努めることを今年度の目標としてきた。

(運営)

- ・少子化が進む現状の中、本園でも定員を大きく下回る園児数となり、今年度これまで240名の定員を190名定員に変更を行った。今後も少子化は進む傾向が続くと思われるが、経営の安定を図り、子ども達の教育環境の質を落とすことなく運営を継続させるためにも園児数の確保は重要な課題となっている。
- ・少しでも園でのお子さんの生活の様子を知っていただくための情報提供に取り組んだ1年であった。以上児のみであるが、ニコピン便りの発行や、スナップ付きのお便りや写真販売などを通して、お子さんの表情や生活の様子を伝えてきた。また、YouTube を利用した動画配信にも取り組んできた。今後も取り組みの継続を図っていく。

(2) 令和7年度定員充足率 定員 190名 (R7,7,1変更)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
実員	152	157	159	159	157	158	160	161	161	161	164	164	159人
充足率	63	65	66	87	83	83	84	84	84	84	86	86	%

(3) こども園運営について行政からの指導、指摘事項について・・・無し

(4) 安全対策関係報告 (保険対応)

- ・ 7月 前歯2本 (つまづき転倒し柵の角)

## 自己評価まとめ

### 自己評価提出者

保育教諭	22名	保育補助	3名	栄養士	1名
調理員	4名	事務員	1名		

### 自己評価提出日

令和7年12月25日 ～ 令和8年1月22日

### 自己評価まとめ

- ・2025年度総合的な振り返り  
(教育課程・子どもとのかかわり・保護者対応・組織の中の自分)
  - ・次年度に向けての抱負や希望
- 以上2点についての自己評価のまとめになります。

#### 2025年度振り返り

- ・保育部門…それぞれの経験を活かし、組織の中での役割を果たしていきたい。また、担当するクラスや業務については、今後も確実に丁寧に対応していきたい。子どもとの向き合い方については、おおむね良好でよい関係性が築けたと感じている。保護者対応についても、丁寧に接してきた。  
夏の猛暑や秋のクマ対応などについても臨機応変に対応し、子ども達の健康と安全を守る取り組みができたと感じている。
- ・調理部門…衛生管理、アレルギー対応等の徹底を図ってきた。作業効率を考えローテーションで担当を変え行ってきた結果、欠勤があった場合でもスムーズに作業を行うことができた。
- ・事務部門…丁寧に確実に仕事に取り組んできた。保育業務がスムーズにいくよう事務仕事のサポートを行ってきた。今後、改善の余地がある業務については、工夫して取り組んでいく。

#### 次年度に向けた抱負や希望

- ・全部門…子どもたち一人一人に向き合い、個々に合わせた保育をしていきたい。子ども達の笑顔を大切に保育業務に当たっていききたい。楽しく仕事をしていきたい。

令和8年3月4日

## 令和7年度修紅短期大学附属認定こども園学校関係者評価 記録

○参加者 園長 保育教諭 佐藤勇人 PTA 会長1名、副会長3名

### 2、学校関係者評価次第

#### ①園長挨拶

- ・関係者評価についての説明と第三者評価についての説明を行った。

#### ②運営状況報告

- ・令和7年度事業報告で教育・保育の質の向上について、今年度の研修参加の内容と参加者の報告を行った。
- ・運営では、7月から園児の定員を240名から190名に変更した。変更したことにより、子供一人当たりの補助金の単価が上がる。
- ・令和8年度から4,5才混合のクラスになり1クラス約24人になる。色々と考えなければならぬ事が増えてくるが、保育しながら考えていきたい。また、2歳児クラスから3歳児クラスに上がる際も、子供の様子と保育の状況をみて判断していきたい。
- ・クマ対策については、園にクマスプレーを常備配置している。  
クマの動きがわからない為、その都度対応していく。
- ・園の都合になってしまう点もあるが、来年度の行事全般は平日開催となる。

#### ③自己評価報告

- ・資料に掲載されている内容になる。

#### ④評価者講評

- ・会長、副会長の方に3月6日までに評価をしていただく。

#### ⑤その他

- ・園だよりで新しく年度途中で来た先生を載せてほしいと意見があった。  
→園だよりでその都度知らせるようにしていく。

令和7年度

修紅短期大学附属認定こども園関係者評価結果

令和8年3月4日実施

「本園の行った自己評価の内容についてご意見、ご感想を自由に記述ください。」に対する評価者の記載内容

- ・部門ごとに取り組んできたことや、今後の抱負が記されていてとても良いと思いました。
- ・振り返りをする際にパーセンテージ等の客観的な指標を用いると該当年度の前後との比較もできたりして、わかりやすい。
- ・質問など、普段かかわりが無い先生にしてもきちんと対応してくれた。
- ・クマや夏の暑さなど、その時に会う方法を考え対応していた。
- ・バス通園の送迎の際に、先生によってはその日の子どもの様子を話してくれるのがうれしい。
- ・かき氷やハンバーガー作りなど、お友達と食べたり作ったりすることがすごく楽しかったようで、子どもの思い出になっている。家族だけでは体験できない思い出になった。
- ・先生方は子ども達や保護者の皆さんと良好な関係を築けていると感じた。「先生が好き」だけでなく信頼もしているように感じた。相撲大会の際、負けて泣いて親もとへ向かわず、行司役の先生のもとに泣きすがるのが良いと思った。
- ・クマ対策ではなかなか園庭で遊べないことを考慮して体育館で体を動かせるなどの対応していただいた。
- ・不審者対策訓練は引き続き取り組みを行ってほしい。